

2008 年度

科目名 基礎ゼミナールⅡA	対象学科・学年 人間社2回生	担当者 岡島 克樹
授業テーマ 格差社会を学ぶ		
授業の概要と目標 現在、日本社会は、高度経済成長期以降の後期近代化の時代を終え、新しいポストモダンな時代に入り、社会経済システムも大きく変化している。その中で、格差が拡大し、一方では六本木ヒルズや東京ミッドタウンに集う人々に象徴されるような富裕層と、他方でネットカフェ難民や野宿者と呼ばれる人の数も増加している。10年後、20年後の日本社会はどのような姿をしているのだろうか。不安になるだけではなく、社会科学を学ぶ人間社会学部の学生らしく、諸原因を分析し、それを除去・緩和する方法と一緒に冷静に考えていきたい。		
評価方法 発表		
テキスト 下に記す。	著者	出版社
参考書 適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ＜学生生活の基本＞ 大学1回生を終え、一定の生活のリズムができているであろうが、果たして、その生活のリズムは本当に適切なものであろうか。前期は、学生生活の基本に戻り、「本・論文を読む」「インタビューする」「情報統合する」「(レジュメで)発表する」「考える」「議論する」といった作業を行いたい。 ＜個人課題＞ 教員が指示する以下の書籍の1冊全部または一部を読んで、要約し、何を書いてあったかをゼミの他のメンバーに報告する。 1. 橋本健二(2007)『新しい階級社会・新しい階級闘争―「格差」ではすまされない現実』光文社 2. 生田武志(2007)『ルポ最底辺―不安定就労と野宿』ちくま新書 3. 赤木智弘(2007)『若者を見殺しにする国―私を戦争に向かわせるものは何か』双風舎 4. 雨宮処凛(2007)『生きさせろ!難民化する若者たち』太田出版 ＜テキスト購入＞ 第1回目に自分の読む本を決めるので、決まった後は、西坂書店ですばやく購入し、読みを進めてください。お金がかかるが、必ず上記書籍のうち、かならず1冊は購入してください。		